

保育計画成果報告書

法人名	社会福祉法人フィロス
施設名	小幡もりの風保育園
報告者（役職）	速水 和子（園長）
住所・連絡先	愛知県名古屋守山区小幡千代田 13-18
	☎ 052-726-3261
	E-mail Obata-morinokaze@philos2011.com

○タイトル（保育計画）

好奇心を育て、知を獲得する原動力となるビオトープ

○主な助成備品

シデコブシ・ヤマモミジ・サワフタギ・ヤマブキ・水生植物 他

1. 保育計画策定の目的

小幡もりの風保育園は、住宅街の中にあり、近くに自然物などがある公園もなく、自然や生物の生命に触れる機会がほとんどありません。また、騒音問題などにより、伸び伸びと遊ぶことができずにいます。こういった環境の中で少しでも子どもたちに自然や生物に触れる機会を持てるようにしたり、季節の移り変わりを自然物を通して感じたり、子どもたちの発見、興味、関心、好奇心、探求心を広げていけることを目的として、策定しました。

2. 具体的な実施内容

一番初めに、年中組の子どもたちが、木や草などにとっても詳しい方たちと一緒に、どのように植えるのか、成長したらどうなるのかなどを聞きながら、下草を植えました。



子どもたちは、初めて見る下草に興味深々で、「この草は何ていう名前なの？」「花は咲くの？」など聞いたり、匂いを嗅ぐ子もいました。また自分で植えたことで、大切にしようという気持ちが持てたように思います。

その後、大きくなったかなと毎日、確認したり、あまり交流がもてていなかった未満児クラス子ども達との交流も少しでき始め、1歳児の子が草を触ろうとすると、年中児の一人が「優しく触ってね」と声をかけたりしていました。



春：下草も、植えたシデコブシやヤマモミジにも葉がつきビオトープが緑豊かになり始めビオトープの池の中に入れるメダカやエビなどを保育士が取りに行ってきました。保育士も生き物を大切にできるよう、保育士が取りに行くようにしました。

年少・年中の子どもたちと一緒に池に入れました。メダカの動きをじっと見つめていました。



夏：草花や生き物への関心がより深まってきたところで、2歳児からクラスで虫メガネを購入し、草花や生き物を観察することになりました。みんな驚きと発見がたくさんで、今では園庭遊びの際にも色々なものを見えています。

また図鑑もすぐに見れるような場所に置くなどしたことで、調べるという探求心も出て来ました。



秋：ヤマモミジが赤く染まり始め、枯れ葉が池の中に落ちているのを見て「はっばさんが池の中にいっぱい入ってる。どうして？」と疑問に思ったり、子どもたちもすぐに気づき「赤くなってる！どうして??」と聞いてきたり、「きれいだね」と眺めたりしていました。



冬：木々の葉がなくなり、少しさびしくなりましたが、これも季節の移り変わりを感じる自然現象で、池のメダカたちも土の下の方にいるようで、水面には出てこなくなりました。子どもたちは「いない!!」と初めは大騒ぎしたり、心配する姿がありましたが、保育士の説明を聞き、安心している様子がありました。また、雪が降り、池に氷が張ったりと、冬ならではの体験ができました。



3. その成果と評価

身近に池や、草木、花、生き物がいたり、ある事で、子どもたちの、興味、関心が大きく広がったように思います。子どもたちの興味関心を広げ、そこから、虫メガネや図鑑で調べて自分たちで知るというように繋げていくことは出来ました。

また、草木や生き物を通して、季節の移り変わりを知ったり、感じたりすることができました。

1年を通して、身近に生き物を感じる事で生き物に対する思いやりの心が育っただけではなく、異年齢での言葉のやり取りなどもふえたように思います。上の子が下の子に教えている姿や、一緒に観察する姿も多く見られるようにもなり、微笑ましく思います。

4. 今後の課題と展望

今年度は、年中組までしかいなかったのですが、虫メガネの観察までしかできなかったため、来年度、年長組になったら、観察して絵を描き、絵本づくりなども行っていきたいと思います。落ち葉や種、草花を使用した工作などが今年度は取り組めなかったため、来年度取り組んでいきたい。

また、池で育てる生き物も増やしていきたいです。

以上